

今日、明日と南のジュニアユースがセミナーハウス宿泊、文化大Gでの強化練習のミニ合宿です。

今日セミナーハウスでは夕食後に、1年生、2年生以上の2グループに別れて、寺子屋の学習をします。テーマはサッカーのルールや環境・平和学習等です。

日頃から、サッカーで仲間の大切さ、ともに育ち合うことの大切さを学び、農業体験では、食農教育として、農業の大切さ、命を育て、命を食するという食の大切さを学んでいる子ども達ですが、その一環です。

寺子屋の後の松田監督やコーチの皆さん、スタッフのみなさん、応援のみなさんとの懇親会も楽しみです。子どもたちの成長を語り、喜ぶことで、次への意欲がわいてくる大切なイベントです。

地域の大人達が地域の子どもたちに関わる原点を改めて確認できる機会です。南で大切にしたいことです。この頃、そのような機会が減っているような気がして少し寂しさを感じています。南のアンパンマン

09・9・19 (土)
南NEWS NO24

第2回 湯殿川カップ決勝を終えて 8月2日(日)

決勝

南八王子ブルー3 - 2 山梨北中

中島君 森田君 高橋君

12 チームが参加する中、山梨県の「山梨北中学校」「コモア四方津」の参加を得て、大変盛り上がる大会に3年から1年の混合チーム南八王子レッド、ブルーの2チームが参加出来た事で色々な経験が出来た事に感謝しています。2チームとも持ち味を生かしたゲーム運びでしたが、今回は優勝した南八王子ブルーの活躍をお伝えいたします。

予選から攻撃の幅を広くする為の布陣、ボールへの関わり、スペースの活かし等を意識して戦ってきましたが、準決勝、決勝では皆の意識も高まり、各選手が個人の持ち味を生かしながら先に述べた事を皆が十分に理解した展開だったと思えます。

特に、我々と同様なサッカースタイルをしている強豪の山梨北中学校との決勝戦では、ゴール前で相手から奪ったボールを左足で決勝点をあげた高橋強君、2列目から飛び出したボランチの中島渉太君が持ち味である足の速さを生かした2点目を早々に上げ、更に決め手となった森田純悟君のドリブルからのシュートは見事でした。

また、このゲームを強豪相手に、冷静にコントロールしたボランチの森田君のバランス感覚には素晴らしいセンスを感じます。

この戦いで一緒に戦った2年生の阿部君、久保君、橋本君、GKの西村君、更には1年生の皆は大変貴重な体験が出来たと思えます。学年混合チームですが、一丸となって素晴らしいチームが出来た事に、南八王子ジュニアユースの本領が発揮できた決勝戦と思います。

b y 江口コーチ

いもほり体験を終わって

ジュニアユース1年 嶋田 修士

いもほり体験を終わり、僕は沢山のことを思いました。

自分が食べるものを自分で作り、自分で採り、自分で食べた経験で「作る」ということの大切さを感じました。食べ物は人の命を支える物だからということにつながると改めて感じました。

以前、NEWSで、今、農作業をする人が減っていると聞きました。人の命を支える食物を作る人が少なくなっているということは、今、美味しくいただいた食べ物をこれからも新鮮に食べるという機会がなかなかなくなっていくのかなと思いました。

次に、農作業をする人が少なくなると次の世代に農業を教える人がいなくなり、この美味しさをずっと子ども達に伝えていくのは厳しいのかなと感じました。

サッカーも終盤になると辛い中、自分の体を使い全力でプレーし、大変ながらもGAMBAするという所です。農作業で日光を受けながら自分の体を使い大変なことをやるということはサッカーでも利用できると思いました。

今回のいもほり体験で学んだことは「食べ物を作るということは大変なことでもあるし、大切なことでもあるということ」です。

僕は毎日何も感じないでご飯を食べていたけれど、作ってくれたというありがたさを思っかみしめないといけないなと思いました。

農業体験

ジュニアユース1年 上倉 裕

南八王子SCで農業体験をさせてもらいました。

体験する畑に着いたら、まず、ジャガイモの掘り方やサツマイモの苗の植え方などを教わりました。ジャガイモ掘りなどはやったことがあるけれどサツマイモの苗植えはやったことがなかったので、初めて知ったことが数多くありました。

サツマイモの苗は斜め45度に植えること、棒をさして穴を開けて、そこに苗を植えることなどです。

僕達が植えたところは1回終わってから苗の植え方が浅かったのが最初からやり直しになってしまいました。

農業体験は楽なことばかりではないけれど楽しかったです。この仕事をしてくれる人が日本に増えれば良いなと思いました。

農業体験

ジュニアユース1年 田倉 直人

〔目的〕

農業を体験し、食の大切さを知る。

〔結果〕

虫が沢山いた。(安全な畑だという証拠かも)

根で全て繋がっているが広範囲に根が広がっているため、掘り出す時、根が切れてバラバラになり収穫するのが大変だった。

〔考察〕

直径2cmほどのお店では見ることのできない小さなジャガイモがたくさんあった。お店で売っているサイズのジャガイモは全体の収穫の一部なのだと考えられる。

〔感想〕

普段、何気なく食べているジャガイモが収穫にこんなに手間がかかるとは思わずビックリした。

農家の人が大変な思いをして作ってくれていることを知る貴重な体験となって良かった。秋のサツマイモの収穫が楽しめた。